

- コース距離：8.2km
- 歩行時間：約2時間30分

- 1 JR総武本線「両国」駅
↓0.3km
- 2 旧安田庭園
↓0.4km
- 3 横網町公園
↓2.3km
- 4 牛嶋神社
↓0.8km
- 5 待乳山聖天
↓0.5km
- 6 今戸神社
↓0.6km
- 7 桜橋
↓0.5km
- 8 三囲神社
↓0.5km
- 9 長命寺
↓0.1km
- 10 隅田公園少年野球場
↓1.1km
- 11 白鬚神社
↓0.6km
- 12 向島百花園
↓0.5km
- 13 東武スカイツリーライン「東向島」駅



12 向島百花園

江戸時代に発祥をもつ都立庭園で、みどころは早春の梅と秋の萩。文化2年(1805年)に仙台出身の骨董商・佐原鞠場が旗本・多賀氏の元屋敷跡に開園。四季百花の乱れ咲く園という意味でこの名称がつけられた。

11 白鬚神社

創建は天曆5年(951年)で、慈恵大師が関東下向時に白鬚大明神の分霊をこの地に祀ったと伝えられる。隅田川七福神の寿老神(寿老人)としても親しまれている。

9 長命寺

創建年代は不詳だが、天台宗の寺院で本尊は阿彌陀如来。三代將軍家光が境内の井戸水で薬を服用したところ、たちまち快癒したので長命水の名を捧げられ、長命寺と呼ばれた。関東風の桜もち発祥の地とされる「長命寺桜もち」で知られる。



8 三囲神社

創立年代は定かではないが、南北朝時代に社殿の地中から神像が掘り出され、白狐がその神像を三度回ったことから「みめぐり」と呼ばれる。江戸時代に三井家の守護社として崇拝され、現在も三井グループ各社から信仰されている。



10 隅田公園少年野球場

昭和24年(1949年)戦後の荒廃した時代に「少年に明日への希望を」スローガンとして、有志によって誕生した日本で最初の少年野球場。日本が誇る世界のホームラン王・王貞治氏もこの球場から育った一人。



7 桜橋

隅田川に架かる橋の中で唯一の歩行者専用橋で、昭和60年(1985年)に完成。X字形の特異な形状をしており、兩岸の隅田公園を結ぶ園路の役割を持つ。花見のシーズンには、桜を楽しむために多くの人がこの橋を渡る。

13 東武スカイツリーライン「東向島」駅

明治35年(1902年)開設当初は「白鬚」駅で、営業を再開した大正13年(1924年)には花街の発展によって「玉ノ井」駅と改称。現行の駅名は住居表示にならって昭和63年(1988年)から。今回の隅田川周辺散策はここが終点。



Walking Course

快汗ウォーキングコース

旧安田庭園、牛嶋神社から桜もちの長命寺を経て、白鬚神社、向島百花園へと続く隅田川周辺を散策する半日コース



1 JR総武本線「両国」駅

明治37年の開業当時の名称は「両国橋」駅。両国国技館によって全国に知られる当駅前をスタートし、隅田川沿いを散策しながら向島へ。

3 横網町公園

陸軍被服廠があったところで、赤羽に移転した跡地を東京市が公園として整備した。東京都慰霊堂や復興記念館があり、関東大震災と第二次世界大戦のメモリアルパークとしての要素が強い公園となっている。



2 旧安田庭園

常陸笠間藩・本庄松平氏の下屋敷で、隅田川の水を引いた潮入回遊庭園として整備された。明治22年、安田善次郎が所有することとなり、その後、東京市に寄贈。現在は、ポンプにて人工的に潮入が再現されている。

4 牛嶋神社

慈恵大師が貞観年間(859年~879年)の頃に建立したと伝えられている。心身快癒の祈願物として信仰されている「撫牛」のほか、神社では珍しい左右一対の牛の石像、狛犬ならぬ狛牛がある。



6 今戸神社

康平6年(1063年)に源頼義・義家親子が京都の石清水八幡宮を当地に勧進し、祈願したのが始まり。今戸八幡と呼ばれていたが、昭和12年(1937年)に隣接の白山神社を合祀し、現在の今戸神社と呼ばれるようになった。



5 待乳山聖天

聖観音宗の寺院で本龍院といい、浅草寺の子院のひとつ。創建は推古天皇3年(595年)と伝えられ、隅田川べりの小高い丘(待乳山)にある。かつては周囲が見渡せた山で、江戸時代には文人墨客もこの地を訪れている。